



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 極東開発工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7226 URL http://www.kyokuto.com/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 布原 達也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 吉田 豊 TEL 0798-66-1000  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	81,277	△4.0	5,412	1.9	5,420	△1.8	4,257	9.7
2020年3月期第3四半期	84,635	5.5	5,312	3.0	5,521	2.3	3,882	6.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,988百万円 (59.3%) 2020年3月期第3四半期 3,759百万円 (103.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	107.16	—
2020年3月期第3四半期	97.74	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	138,631	97,070	69.8
2020年3月期	136,579	92,566	67.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 96,760百万円 2020年3月期 92,181百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	18.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,000	△5.1	8,000	△5.8	8,000	△7.8	6,000	△1.2	151.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	42,737,668株	2020年3月期	42,737,668株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,993,097株	2020年3月期	3,011,295株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	39,728,273株	2020年3月期3Q	39,726,636株

（注）当社は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship®）」を導入しています。当該信託に残存する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い社会が停滞しました。また12月には国内における感染が再拡大し、景気の減速が続きました。

このような状況下、当社グループでは、お客様、地域の皆様、従業員の安全を最優先とした新型コロナウイルス感染対策を実施しながら事業活動の継続に努めました。

また併せて、中期経営計画（3カ年計画）2019-21 ～To the Growth Cycle～（2019年4月1日～2022年3月31日）の2年目として、企業品質の向上と社会的価値の深化を目指して諸施策を実行しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は前年同期と比較して、売上高は3,357百万円（4.0%）減少して81,277百万円となりました。営業利益は99百万円（1.9%）増加して5,412百万円、経常利益は101百万円

（1.8%）減少して5,420百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は税負担の軽減により374百万円（9.7%）増加して4,257百万円となりました。

次に連結ベースでのセグメント別の概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

#### ①特装車事業

国内需要は、一部で新型コロナウイルスの影響による商談の遅延が見られたものの、全体では堅調に推移しました。当社はITを活用したテレワークなどの推進による受注確保のほか、工場では感染対策を実施しながら生産活動を継続しました。

また、2020年7月にIoT基盤を利用した車両管理支援システム「K-DaSS。(ケーダス)」アプリ及びWEBのリリースを行い、新サービスの展開を進めたほか、同8月にはごみ収集車向けのオプションとして画像認識AI搭載の安全支援システム「KIES (キース)」を、同11月にはピストン式コンクリートポンプ車の量販機種である26m級の新型「ピストンクリート。PY120B-26D」を発売するなど、当社の技術力を活かした製品を積極的に投入しました。

海外は、2020年9月9日付でグループ化（完全子会社化）したインドのSATRAC ENGINEERING PRIVATE LIMITED（以下、SATRAC社）との連携を進めました。SATRAC社の生産拠点を活用することで、インドにおける事業基盤を強化し、特装車事業の更なる拡大を図ります。

当セグメントの売上高は3,010百万円（4.1%）減少して69,535百万円となりました。営業利益は306百万円（7.5%）増加して4,410百万円となりました。

#### ②環境事業

プラント建設では、2020年5月に北海道札幌市様より受注した駒岡清掃工場更新事業の建設工事及び、2020年6月に秋田県の鹿角広域行政組合様より受注した不燃ごみリサイクルセンターの建設工事等を進めました。また、引き続きメンテナンス・運転受託等のストックビジネスについて注力しました。

当セグメントの売上高は187百万円（2.6%）減少して6,974百万円となりました。営業利益は33百万円（3.5%）増加して1,005百万円となりました。

#### ③不動産賃貸等事業

立体駐車装置はリニューアル及びメンテナンス等のストックビジネスに継続して注力したほか、新規物件の受注活動も併せて進めました。コインパーキングは新型コロナウイルスの影響による稼働率の低下が続きましたが、利益を確保すべくトータルコストの削減等を進めました。

当セグメントの売上高は160百万円（3.0%）減少して5,168百万円となりました。営業利益は94百万円（11.2%）減少して751百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は2,051百万円(1.5%)増加して138,631百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少等により1,722百万円(2.1%)減少して81,030百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の時価の上昇等により3,774百万円(7.0%)増加して57,600百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は未払法人税等の減少等により3,115百万円(8.1%)減少して35,500百万円、固定負債は繰延税金負債の増加等により662百万円(12.3%)増加して6,060百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により4,504百万円(4.9%)増加して97,070百万円となりました。

なお、自己資本比率は69.8%(前連結会計年度末67.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、主力の特装車事業が当初の想定より底堅く推移していることから、現時点で入手可能な情報や予測等を勘案し、2020年11月11日に公表いたしました業績予想及び2020年8月6日に公表いたしました配当予想を以下の通り修正いたします。

詳細につきましては、本日(2021年2月5日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」もご参照ください。

2021年3月期通期連結業績予想値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2020年11月11日発表)	百万円 108,000	百万円 6,000	百万円 6,000	百万円 4,800	円 銭 120.83
今回修正予想(B)	114,000	8,000	8,000	6,000	151.03
増減額(B-A)	6,000	2,000	2,000	1,200	
増減率(%)	5.6	33.3	33.3	25.0	
前期実績 (2020年3月期)	120,173	8,493	8,675	6,073	152.87

2021年3月期通期配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年8月6日発表)	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 36.00
今回修正予想	—	—	—	20.00	38.00
当期実績	—	18.00	—		
前期実績 (2020年3月期)	—	20.00	—	20.00	40.00

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,804	11,075
受取手形及び売掛金	35,905	28,209
電子記録債権	6,814	8,235
有価証券	12,889	11,600
商品及び製品	1,368	2,073
仕掛品	5,797	8,437
原材料及び貯蔵品	9,483	9,933
前払費用	399	433
その他	2,352	1,169
貸倒引当金	△61	△136
流動資産合計	82,753	81,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,352	11,438
機械装置及び運搬具(純額)	5,217	5,330
土地	20,360	20,735
建設仮勘定	1,011	1,322
その他(純額)	1,104	1,029
有形固定資産合計	39,046	39,856
無形固定資産		
のれん	—	1,099
その他	700	722
無形固定資産合計	700	1,822
投資その他の資産		
投資有価証券	11,684	13,622
長期前払費用	189	500
繰延税金資産	259	255
その他	2,653	2,592
貸倒引当金	△708	△1,048
投資その他の資産合計	14,079	15,922
固定資産合計	53,826	57,600
資産合計	136,579	138,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,993	15,428
電子記録債務	10,629	10,911
短期借入金	1,463	1,694
1年内償還予定の社債	—	50
1年内返済予定の長期借入金	636	326
未払法人税等	1,570	252
未払消費税等	1,435	646
未払費用	4,568	2,498
引当金	1,043	1,995
その他	1,274	1,697
流動負債合計	38,615	35,500
固定負債		
社債	50	—
長期借入金	55	326
長期預り保証金	1,861	1,682
退職給付に係る負債	967	863
引当金	168	144
繰延税金負債	1,600	2,322
その他	694	720
固定負債合計	5,397	6,060
負債合計	44,013	41,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,679	11,820
利益剰余金	68,732	71,480
自己株式	△2,153	△2,269
株主資本合計	90,158	92,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,553	4,328
為替換算調整勘定	127	56
退職給付に係る調整累計額	△657	△555
その他の包括利益累計額合計	2,023	3,829
非支配株主持分	384	309
純資産合計	92,566	97,070
負債純資産合計	136,579	138,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	84,635	81,277
売上原価	68,735	65,658
売上総利益	15,900	15,619
販売費及び一般管理費	10,587	10,207
営業利益	5,312	5,412
営業外収益		
受取利息及び配当金	350	579
雑収入	135	116
営業外収益合計	486	696
営業外費用		
支払利息	40	26
持分法による投資損失	123	95
為替差損	43	125
貸倒引当金繰入額	—	338
雑支出	69	103
営業外費用合計	277	688
経常利益	5,521	5,420
特別利益		
固定資産売却益	17	155
投資有価証券売却益	694	—
その他	0	—
特別利益合計	712	155
特別損失		
固定資産処分損	41	30
投資有価証券売却損	—	15
投資有価証券評価損	—	6
関係会社株式売却損	601	—
災害による損失	8	40
その他	14	10
特別損失合計	665	103
税金等調整前四半期純利益	5,568	5,472
法人税等	1,774	1,256
四半期純利益	3,793	4,215
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△89	△41
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,882	4,257



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,793	4,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	1,774
為替換算調整勘定	36	△107
退職給付に係る調整額	69	101
持分法適用会社に対する持分相当額	11	3
その他の包括利益合計	△33	1,772
四半期包括利益	3,759	5,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,850	6,062
非支配株主に係る四半期包括利益	△90	△74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、SATRAC ENGINEERING PRIVATE LIMITEDの株式を取得したことにより子会社化し、連結の範囲に含めています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	72,538	7,159	4,937	84,635	—	84,635
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	1	391	400	△400	—
計	72,545	7,161	5,328	85,035	△400	84,635
セグメント利益	4,104	971	846	5,921	△609	5,312

(注) 1 セグメント利益の調整額△609百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△615百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	69,519	6,974	4,783	81,277	—	81,277
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	—	384	400	△400	—
計	69,535	6,974	5,168	81,678	△400	81,277
セグメント利益	4,410	1,005	751	6,167	△755	5,412

(注) 1 セグメント利益の調整額△755百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△764百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。